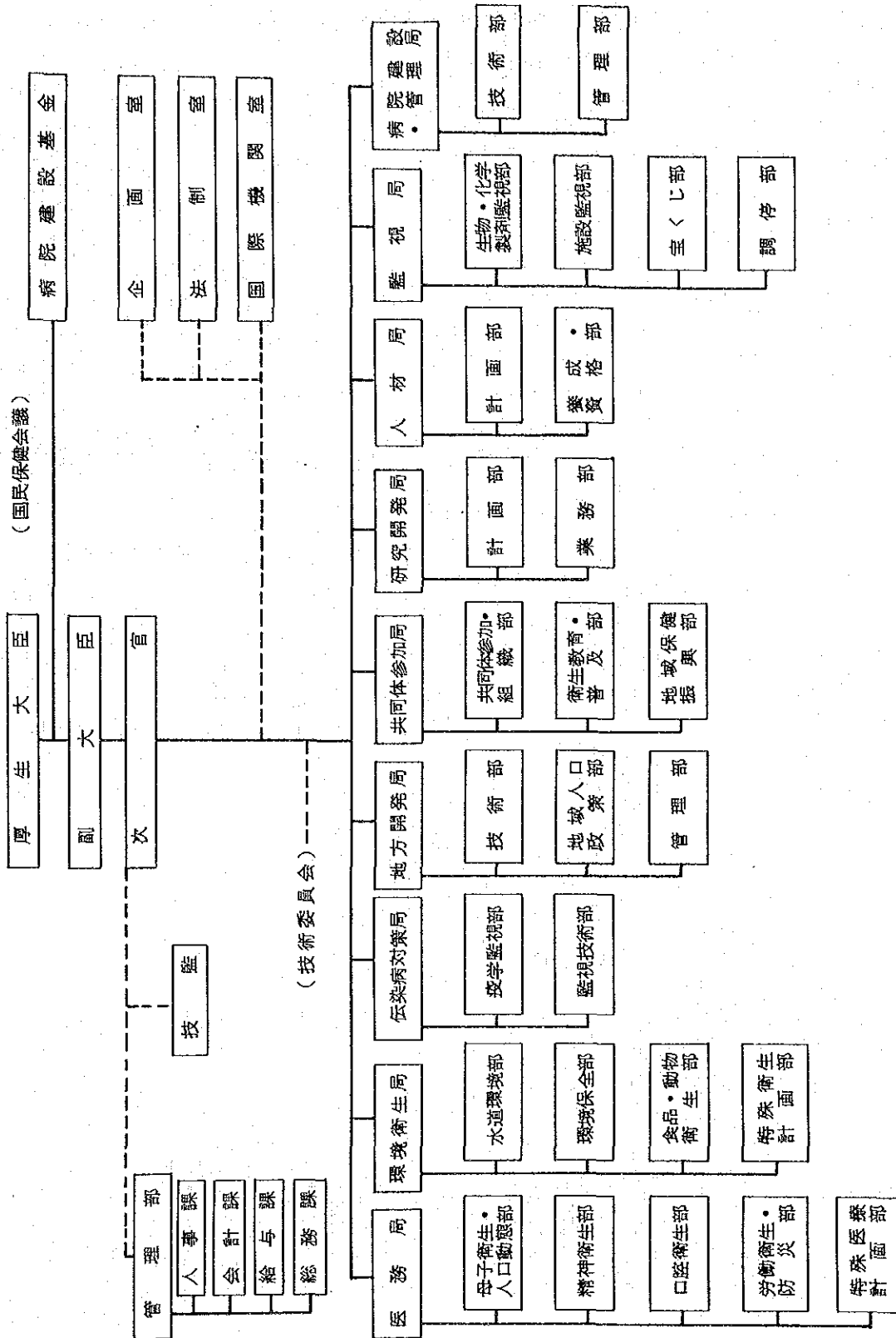
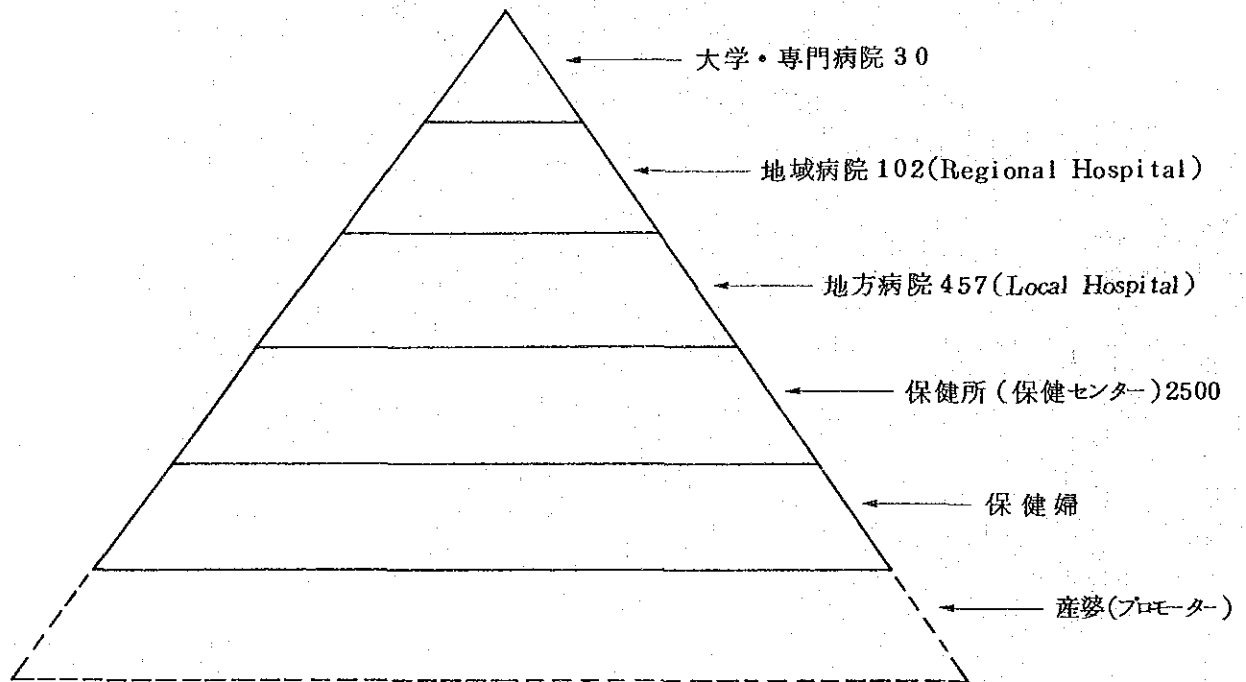


V 添 付 資 料

1. コロンビア国厚生省 (Ministerio de Salud) 組織図



2. 国民健康計画 (Plan Nacional de Salud) における保健医療システム



3. 「プロジェクト 1300」

コロンビア共和国

保健省

医療局

母子及び人口動態部

母子及び人口動態プログラム

技術・資金援助

1984～1985

プロジェクト コロンビア79/P0/UNFPA/1300

ボゴタ 1985年 2月

目 次

I 国の特徴—地理及び気候	30
II 保健部門の状況分析	31
2.1 人 口	31
2.2 保 健 状 態	31
III 国の保健政策	40
3. 総合的目標	40
IV 母子プログラム	40
4.1 経 緯	40
4.2 全体的目標	41
4.3 目標の詳細	41
4.4 戦 略	41
4.4.1 乳児及び1～4才のグループ	41
4.4.2 母親グループと受胎調節プログラムの利用者	41
4.5 サービス提供の為の一般的規準	42
4.5.1 幼児への対応	42
4.5.2 母親への対応	42
4.5.3 受胎調節プログラム	42
V UNFPA 母子プログラムへの技術資金援助	
5.1 活動スケジュール	43
5.2 目標別総合予算	46
5.3 プロジェクト特定エリアの予算	49

プロジェクト作成の責任者

厚生省	Dr. フェルナンド・レジェス・ロメロ	衛生医
医療局	Dr. フリオ・セサル・ゴンサレス G.	#
母子及び	Dra. マグダ・パラシオ・フルタド	小児科医
人口動態部	Dra. ルス・エンナ・モンサルベ・リオス	#
	Dr. マヌエル・モレノ・カストロ	周産期医学専門
	Lic. ルス・エンナ・デ・ドゥケ	衛生看護婦
	# パウリーナ・スアレス・チャパロ	社会学-保健管理
	Lic. クララ・デ・ゴンサーレス	栄養士-食養工
	Lic. ノルマ・パトロン・デ・アコスタ	保健管理
人事部	Lic. グロリア・カリスト・バジェステロス	統計・図表
コミュニティ参加部	Lic. エルナン・サラマンカ	看護婦
	# ソフィ・ギオマール・オスピーマ	社会広報官
情報部	# レオネール・カスティージョ	人類学
国際機関・協定・事務局	Dr. ハイメ・セラト C.	統計・図表
OPS / OMS	Dr. ブラディミール・バサベ	衛生医
	Dr. ミシェル・Mc. ケスティオン	衛生医, OPS/OMS 顧問
	Dr. ベルナルドゥ・ガンテール	生物学, #
タイプ	Sra. ノオラ・グティエレス・デ・セレドン	医師, #
		秘書

母子及び人口動態プログラム 技術資金援助プロジェクト

国名	コロンビア
要請機関	厚生省
実施・調整政府機関	医療局, 母子及び人口動態部
実施代理者	OMS / OPS
プロジェクト期間	14ヶ月
開始日	1984年10月
UNFPA 出資額 (USドル)	1,068,700
中央政府出資金	140,000,000 ペソ*

*これは、母子プログラム推進への支援としての中央政府の特定出資金である。この数字は、諸レベルにおけるプログラム必要経費の全額ではない。

はじめに

この文書は、コロンビア厚生省、母子及び人口動態局、医療部が、我国のOPS/OMSと共に作成したものである。

UNFPA/PAHO/OMS ミッションより、その評価の為の訪問中（本年8月）に提案された基本計画が考慮され、現在の国の保健政策に採用されている。その政策では、国の平和を得る為の支援として、又、母子プログラムの必要性、優先性から、国境地域、紛争地域の回復を優先的に考えている。

以上のことより、この文書が、母子医療への支援活動、及び、1984～1985年の出生率の適性化活動の計画作成の基本要素となっている。

I 国の特徴—地理と気候

コロンビア共和国は、南米の北西端に位置し、面積は1,141,758km²、北側はカリブ海、南はペルーとエクアドル、東はベネズエラ、ブラジルと接しており、西側は大太平洋となっている。

我国の領土は、自然条件的に5地方に分けられている：

アンデス山脈が、南から北へ縦断していて、地形的、気候的に5つのゾーンがあり、それぞれ他のゾーンとは大きく異なっていて、独特の特徴を有している。

a. カリブ地方

熱帯平原、農牧業に適した暑いが、乾燥した気候である。

b. 太平洋沿岸地方

西コルディジェラ山脈と太平洋の間であり、進入不可能な熱帯林で、世界で最も雨の多い地域の一つとなっている。

c. アンデス地方

主に山脈。肥沃な溪谷と高原が多数あり、気候は非常に穏和である。国内の主要都市は、この地方に位置している。

d. オリノコ川流域

広大な暑い平原で、オリノコ川の大きな支流が流れている。

e. アマゾン流域

国土の4分の1を占める広い地方で、殆ど人は住んでおらず、熱帯雨林に覆われている。アマゾン川流域の一部である。

〔気 候〕

コロンビアは、緯度的に、領土の殆どが、熱帯（高温多湿）気候であるが、国を縦断している山脈により高度があるので、気候は、緯度ではなく、海拔により、あらゆる変化を示しており、年平均気温は、パラモスやアルティパニセスの0℃から、海岸やセルバの35℃まで、変化に富んでいる。雨量は、国内、殆ど全地域で、特に太平洋岸とアマゾン流域で多く、国内北部のグアヒラ半島の様に、極く限られた乾燥した高原でのみ、少量となっている。

II 保健部門の状況分析

2.1 人口

1984年の人口は、2800万人と推定される；1986年半ばには、29,194,000人に達している。年増加率は2.1%であるが、減少傾向にある。この現象は、出生率の急減が始まった60年半ばからのものである。1968年には、人口千人当たり41人の出産（813,000人出生）、1982年には千人当たり27人（728,000人出生）。平均寿命は、1950年の50.6才から、現在は、約63才に達し、非常に伸びている。

上記出生率の変化、全ての年齢層に於ける死亡率の減少、平均寿命の伸び等により、年齢別人口構成にも変化が見られ、15才以下の人口比率が低下し、第3年齢層が増加している。

15才以下が1964年には46.6%、1983年には38.83%であり、2000年には31.5%が予想される。15～64才の層は、1973年には52%であったのに対し、1983年には58.02%になり、2000年には64.37%になると思われる。（図No.2）

第3年齢層は、企画庁の計算によれば、今世紀末には、1973年（621,000人）の約3倍の174万人に増加する。

1973年の人口調査によると、60%が都市人口であるが、1983年には、65%、今世紀末には、73.7%と推定される。

年齢構成は、都市化の段階により大きく違っている。寒村では、5才未満が15.6%であるのに対し、大都市では11%である。15～44才の層のコントラストは更に大きい。これは主に職を求めての流入によるものである。

教育レベル別人口構成も都市化の段階により異なる；人口2500人以下の村や農村部の38.6%が教育を受けていないのに対し、10万人以上の都市では、その数字は10%に過ぎない。

1983年の14才以上の文盲は、2,373,100人の14%であった。

2.2 保健状態

罹病—死亡率の程度、構造、傾向にここ10年間で大きな変化が見られるが、未だ、開発途上国に特有の特徴を呈している。

2.2.1 罹病率

1977～1980年の保健調査によると、人口の4.1%が何らかの形で2週間、健康を害しており、病人の72%（歯科を含む）が診察の必要があり、6才以上の34.1%が仕事や学校へ行くことが出来なかった。

従って、1年間で6才以上の総人口の中で約379,000,000日、病気で休んだ計算になる。その内1.5%が歯科によるものである。

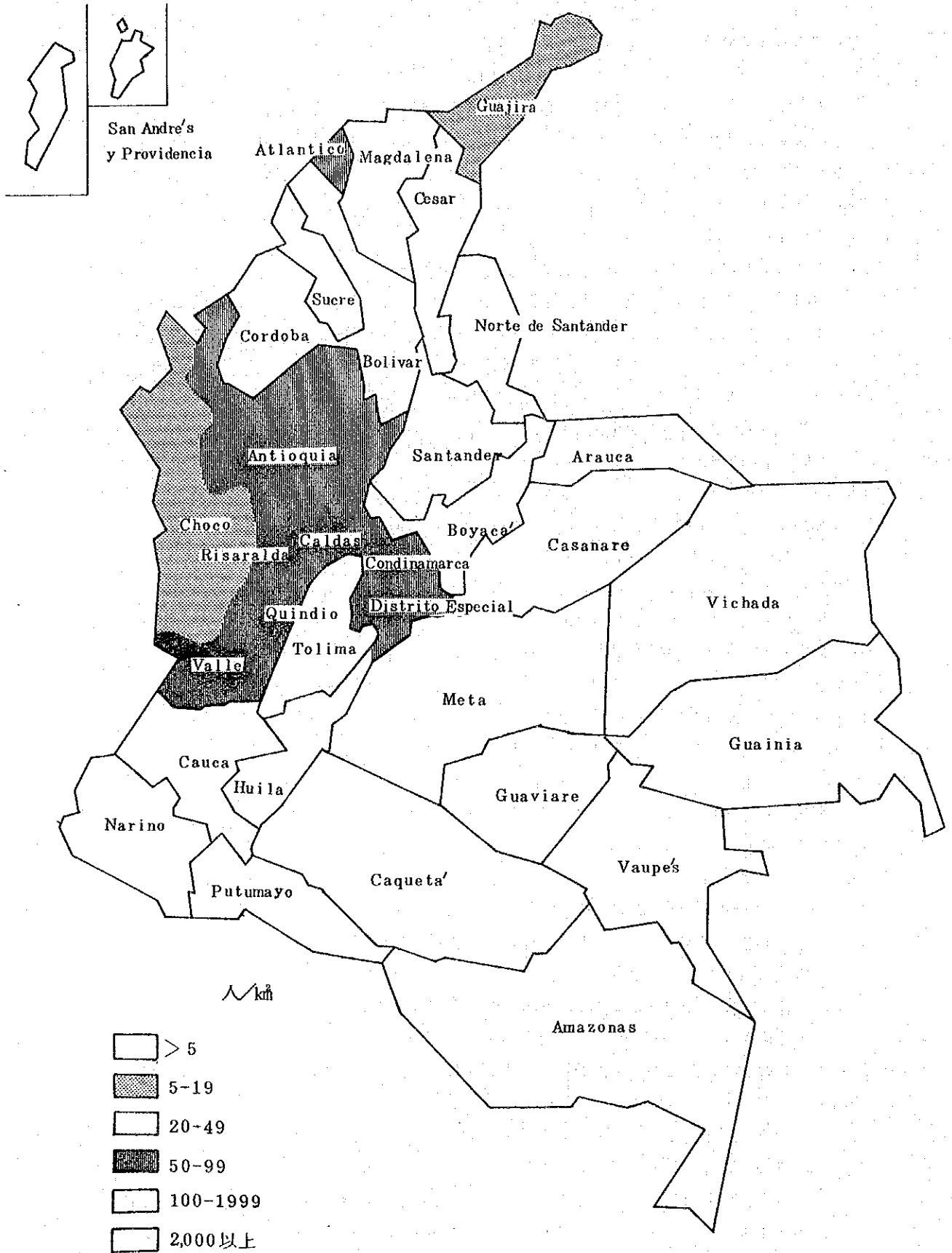
2週間の内、11.5%が診察日数、0.2%が入院日数であるが、診察の必要を感じた病人の3分の1のみが診察を受けている。

社会—経済的ファクターの影響に関しては、家族の収入、教育、都市化の段階が、罹病率、診察の必要性、休みと逆の相関関係にある；効果的な診察、入院と直接関係している。

以上をまとめると、2週間の内、100人につき41人が病気で、診察の必要を感じる人が24人、休む人が11人、診察を受ける人が11人、入院する人が0.2人となる。

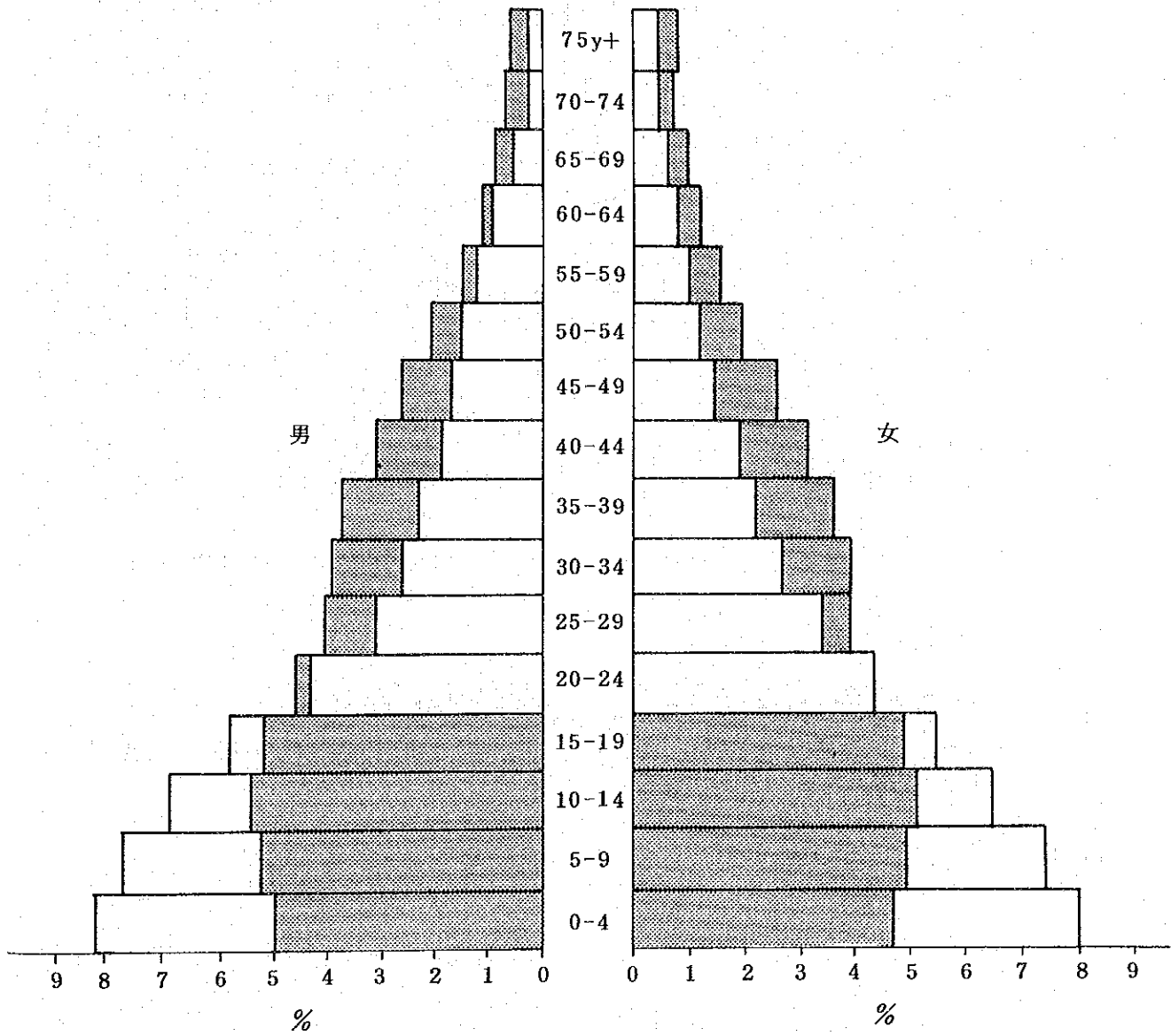
図No. 1

人口密度
コロンビア 1984



図No. 2

年齢及び性別人口構成
コロンビア 1973～2003



1973 2003

2.2.2 全体的な死亡率

子供の死亡率の低下について、Bayona は、“1973年の国勢調査と1978年の全国家庭アンケートのデータを基に計算した子供の死亡率は、1971年で1,000人当り73人、1975年で69人と推定される。全国的な家庭アンケート4ヶを基にした保健調査の最近の予測は、58.53人である”と、表わしている。

死亡原因とその変化を分析すると、伝染病による変化が顕著である。主に環境衛生が原因となっている腸系統の伝染病、栄養不良、急性、慢性の呼吸器系疾患、等の地域の発展と関係する幾つかの病気が組織的に減少している。(表No.1)

死亡の10大原因と病気の主要原因(入院及び外来で取扱ったもの)とを比較すると、コロンビアの保健問題の興味深い点が明らかになる。(表No.2)

年令的に全体をみると(表No.1, No.2)、急性呼吸器系疾患、腸系統の伝染病、事故及びその結果のみが、死亡と疾病の10大要因に同時に現われている。

2.2.3 5才未満児の死亡率

1才以下では、1971年に1位だった腸の伝染病が、1981年には2位になり、周産期死亡が1977年、1981年にはそれぞれ3位と1位であった。栄養失調による死亡率も低下しているが、順位は上っている。(表No.3)

1~4才では、腸系伝染病と急性呼吸器系疾患が1977、1981年共に、1、2位を占めているが、死亡率は大きく低下している。

慢生呼吸器系疾患は、1977年の3位、百万人当り618人から、1981年には5位、320人になっている。

ビタミン欠乏症は、1977年の4位から、1981年には3位になっているが、率的には僅かに低下している。事故は、5位から4位になっており、率的にも3.27から3.90へ、増加している。(表No.4)

2.2.4 妊娠可能年令の女性の死亡率

母親の死亡率も、国民の保健レベルを計る指数となる。妊娠可能年令の女性の死亡の第1原因は、1981年には、悪性腫瘍、2位が、妊娠、出産、出生後の併発症、3位が、心臓病(循環器系疾患を含む)となっている。(表No.5)

コロンビアに於る主要死亡原因

1973, 1975, 1977, 1981

51 原因グループ別 E. N. S. 順位, 百万人当りの率, 及びパーセンテージ

コード	診断名	1973			1975			1977			1981		
		順位	百万人当り	%	順位	百万人当り	%	順位	百万人当り	%	順位	百万人当り	%
00	腸 伝 染 病	991	1.13	9.5	10.	761	9.5	10.	673	9.1	70.	340	5.35
13	悪 性 腫 瘍	577	6.6	7.4	30.	598	7.4	20.	619	8.4	10.	650	10.25
31	急性呼吸器系伝染病	750	8.6	7.8	20.	624	7.8	30.	533	7.2	60.	350	5.57
26	その他の心臓病	518	5.9	6.4	40.	515	6.4	40.	480	6.5	20.	480	7.53
25	局所食血心臓病	448	5.1	6.4	50.	514	6.4	50.	475	6.5	30.	430	6.81
27	脳 血 管 病	398	4.5	5.4	60.	437	5.4	60.	423	5.7	40.	370	5.83
47	その他の事故	336	3.8	3.8	80.	307	3.8	70.	289	3.9	80.	290	4.55
49	殺 人							80.	281	3.8	50.	370	5.81
32	慢性呼吸器系疾患	394	4.5	4.2	70.	335	4.2	90.	250	3.4			
44	その他周産期	254	2.9	3.0	100.	238	3.0	100.	213	2.9	90.	220	3.39
16	栄 養 失 調	323	3.7	3.4									
24	高 血 圧 症										100.	210	3.31

出典：死亡率1961資料DANE調整 国家保健調査(事前データ)

パヨナ, アルベルト, バボンA, コロンビアに於る死亡率 第二巻, 国家保健調査, 保健省, I.N.S.

Ascofame, ボゴタ, 1983年7月

表 No. 2

罹病，死亡の10大要因
 コロンビア全体1981～1982

コード	原因	死亡 1981		傾向 1977-80*		罹病 1977-80		罹病 1982		巡回 1982	
		順位	%	順位	千分率	順位	千分率	順位	%	順位	%
018	悪性腫瘍		10.25		0.65						
031	その他の心臓病 (循環器系疾患を含む)		7.53		0.48						
030	局所貧血心臓病		6.81		0.43						
032	脳血管病		5.83		0.37						
054	殺人		5.81		0.37						
035	急性呼吸器系疾患		5.57		0.35		9.35*		3.6		9.8
001	腸の伝染病		5.35		0.34		4.96*		5.6		7.0
052	その他の事故		4.55		0.29		1.52*				
049	周産期に発生する各種疾患		3.39		0.22						
029	高血圧症		3.31		0.21				25.0		
045	通常分娩						9.34		6.4		4.0
044	妊娠，出産，産後の合併症						2.25.6		6.2		9.4
042	その他の泌尿生殖器疾患								4.6		
043	流産								3.3		5.7
055	その他の先天性傷害								2.3		5.0
027	その他の神経性感覚器官系統の疾患						3.30.2				9.7
039	歯の病気								10.2.6		4.9
016	寄生虫病								7.0.6		4.9
046	皮膚及び皮下組織の疾患										
037	呼吸器疾患(急性及び慢性を除く)						1.2.9.1				
034	循環器疾患(ラッパ管疾患を除く)						8.2.4				
047	骨，筋肉疾患						6.2.2				
021	ビタミン及び栄養失調疾患						6.1.1				

順位，下痢，呼吸器系疾患，事故
 資料：死亡率，MINSALUD(厚生省)，事前データ，傾向 E. N. S. 病院及び巡回，厚生省

表 No. 3

1才未満児の10大死因
 コロンビア全体 1977-1981

コード	診断	1977			1981		
		順位	百万人当り	%	順位	百万人当り	%
00	腸の伝染病		14.470	24.0		7.240	16.33
31	急性呼吸器系疾患		9.133	15.2		5.770	13.02
44	その他の周産期		7.355	12.2		7.650	17.26
43	血液酸素欠乏症		5.590	9.3		5.640	12.74
32	慢性呼吸器系疾患		3.907	6.5		2.120	4.77
16	ビタミン及び栄養失調疾患		2.833	4.7		2.500	5.64
42	先天性異常		1.906	3.2		2.150	4.86
04	その他の細菌性疾患		1.603	2.7		1.370	3.08
21	脳膜炎		1.383	2.3		1.220	2.75
02	百日ぜき		774	1.3			
	その他の内分泌及び新陳代謝疾患					780	1.75

出典：死亡率1961資料 DANE 調整 国家保健調査（事前データ）

パヨナ, アルベルト, パボンA, コロンビアに於る死亡率 第II巻, 国家保健調査, 厚生省, I. N. S.
 Ascotame, ボゴタ, 1983年7月

表 No. 4

1 ～ 4 才児の 10 大死因
 コロンビア全体 1977-1981

コード	診断	1977		1981	
		順位	百万人当り	順位	百万人当り
00	腸の伝染病		1.629		840
31	急性呼吸器系疾患		1.054		730
32	慢性呼吸器系疾患		618		320
16	ビタミン及び栄養失調疾患		454		420
47	その他の事故		327		390
06	はしか		282		270
11	寄生虫病		241		100
02	百日せき		181		
21	脳膜炎		179		150
18	貧血症		164		
	その他細菌性疾患				120
	自動車事故				110
					16.84
					14.80
					6.50
					8.41
					7.87
					5.37
					2.11
					3.11
					2.50
					2.29

出典：死亡率 1961 資料 DANE 調整 国家保健調査（事前データ）
 バヨナ，アルベルト，パボンA，コロンビアに於る死亡率 第II巻，国家保健調査，厚生省，I. N. S.
 Ascofame, ボゴタ，1983年7月

表 No. 5

15~44才の女性の罹病・死亡の10大原因
 コロンビア全体 1981~1982

	死 亡		傾 向		罹 病		巡 回	
	順位	%	1977-1980*		1977-1980		1982	
			順位	1000人当り	1000人当り	順位	1000人当り	順位
018 悪性腫瘍		14.08		0.22				
044 妊娠、出産、産後の併発症		7.60		0.12			19.3	4.0
031 その他の心臓病 (循環器系疾患を含む)		5.67	1494	0.09				
054 殺人		5.61		0.09				
051 自動車事故		5.53		0.09				
032 脳血管症		5.45		0.08				
052 その他の事故		5.43		0.08		8.7**		
040 消化器系疾患		3.75		0.06	99.8		3.1	4.7
027 その他の神経性感覚器管系統の疾患		3.35		0.05	274.7			4.4
030 局所貧血心臓疾患		3.35		0.05				
045 通常分娩							48.3	
043 流産							8.8	
042 その他の泌尿生殖器疾患					529.0		5.8	20.3
025 精神病							1.3	4.1
019 不特定良性腫瘍							1.2	
037 その他の呼吸器系疾患					184.0		1.0	
001 腸の伝染病							0.9	
039 菌の病気						168.0		10.0
035 急性呼吸器系疾患					73.1			5.1
046 皮膚及び皮下細胞組織の疾患					54.8			3.8
017 その他の伝染性疾患及び寄生虫								3.7

* 同一人が幾つかの別の原因グループに含まれることが出来る。

** 順位, 全ての事故, 呼吸器系疾患

(1) ヘルニアを含む
 (1) 各種下のメンバールを含む
 資料: 死亡率 厚生省, 事前データ, 傾向 E. N. S. 病院, 巡回, 厚生省,

III 国の保健政策

コロンビアの総合的な保健政策は、“1983～1986年国家計画、健康の公平を目指して”の中に表わされており、“国の経済的、社会的発展を刺激することを目的に、社会・文化面、人口動向、環境、保健行政の供給と機能、等について特に批判のある条件、要件に関する行動を通じてより大きい福祉を、最も下層の、危険のあるグループに重点を置いて、得る為に、国民の罹病、死亡率のレベルを修正すること”である。

3. 総合的目標

全体的な政策遂行の為に、次の総合的目標を定める：

- 3.1 住民への保健サービスの供給面に介入するだけでなく、サービスの需要に便宜をはかり、保健サービスの効率、質、普及範囲を改善する。都市周辺部及び農村部の住民への対処を優先し、母子、労働者、高齢者、障害者、原住民、及び、壊乱、紛争地域の住民に重点を置く。
- 3.2 都市周辺部、農村地帯の基本的衛生行動、及び、水資源、大気の保全、回復に力を入れて、地域サービス、環境サービスの普及範囲、効率、質を改善する。
- 3.3 国家保健制度の物質、人材、技術、資金面のインフラの機構、効率、質を改善する。
- 3.4 サービスの計画、実施、コントロール、評価の為に、コミュニティの診断、解決方法の計画への参加を活発に促し、家庭単位毎に家族の自発的な能力開発、継がりを刺激する。
- 3.5 保健状態を決める要因を効果的に修正できる行動プロジェクトのデザインと実施の為に各管理部門間の調整を促進し、保健部門の責任を果たす。
- 3.6 保健基本計画に含まれるプログラム、プロジェクトに関係する融資及び、国内、海外の技術協力の契約、計画、実施を指導し、引いては不統一、重複を避け、資金的、技術的支援を最も早急に必要としている面を選ぶ。

IV 母子プログラム

保健政策は、母親と子供のグループを最優先している。

政策と目標は、国家保健制度を通じて、母子プログラムを利用した各々の対応の段階で遂行される。

4.1 経緯

60年代の高出生率、子供の年令的な間隔と数を調整する必要を国民が感じたこと、人口調査の結果などから、コロンビアでは、1969年から母子プログラムが開始された；厚生省医療局に属する“母子及び人口動態部”がその実施に責任を有している。

このプログラムは、当初“地理的拡大”政策⁽¹⁾に応じたものであったが、1974年末には、国内地方単位の86%をカバーするに至った。

(1) 国家保健制度の各種レベルに於る母子活動の前進的普及

1975年、5大都市を対象にした特別プログラムを導入したが、現在の方向は、保健の基本的インフラストラクチャーのある地域の資源を合理化して、普及を拡大するものである。

1983年の母子プログラムの診療面のカバー率は、次の通りであった；1才未満8.67%，1～4才4.8%，5～14才2.48%，産科7.54%，家族計画利用者11%，病院での出産4.8%。

4.2 全体的目標

- 4.2.1 特に、多産、頸部癌、流産、及びその他の婦人科病による死亡率、罹病率を下げることに貢献すること。
- 4.2.2 個人又は夫婦が、責任ある親の権利、義務を自覚して行使し、母親に影響を与え得る様な教育及び家族計画サービスを通じて、家族の社会福祉条件の改善に貢献し、究極的には、厚生省の担当する国の政策の一部をこの形で実施することである。
- 4.2.3 減少可能な害から守る為の活動を特に多くして、成長にとって最も要求事項の多い年令の子供の罹病率、死亡率を主に低下することに寄与する。

4.3 目標の詳細

4.3.1 乳児グループ

乳児の罹病、死亡率を減少する（死亡率を1000人当たり40～45人のレベルに）。その為、腸の伝染病、寄生虫病、予防接種で予防できる病気、急性呼吸器系の病気、周産期の病気を半減する。

4.3.2 1～4才のグループ

下痢、予防接種で予防できる病気、急性呼吸器系の病気による死亡率を半減して、1,000人当たり5～7人のレベルにまで下げる。

4.3.3 母親グループ

妊娠、出産、流産による合併症、頸部癌による死亡率を10%に下げて、母親の死亡率を低下する。

4.3.4 受胎調節プログラムの利用者

受胎調節の普及率を量、質、共に改善して1986年には、指定人口（15～44才）の20%をカバーする。

4.4 戦 略

4.4.1 乳児及び1～4才のグループ

- 5才未満児の成長、発育プログラムの活動を増加して、カバー率を60～70%にする。
- ジフテリア、破傷風、百日ぜき、結核、ポリオ、はしかの予防注射を増やして、それぞれのカバー率80%を達成する。
- 診療のカバー水準を1才以下で90%以上、1～4才で50～60%にまで引上げる。
- 急性呼吸器系疾患をコントロールする特定の行動の計画と導入。
- 急性の下痢による脱水症状の予防と管理、及び、経口補水剤の適切な生産と分配の計画を導入、進展させる。
- 未就学児の総合検診、妊婦、乳児、幼児の栄養面の行動、及び、母乳奨励の教育行動、等の普及の増加をはかる。

4.4.2 母親グループと受胎調節プログラムの利用者

- 危険度に応じて、病院等での出産を増加させて、70～80%の普及率を達成する。
- 危険度分類の方法を用いて、出産前の検診を増加し、診療普及率70%を達成する。

- 出産危険度分類をベースに、受胎調節への対応を増やす。
- 頸部癌と乳癌の早期発見の為の行動の増加。

4.5 サービス提供の為の一般的規準

4.5.1 幼児への対応

幼児セクションでは、下記事項に関する医師、看護婦、保健婦用の対応規準を設けている。

- コミュニティ内の5才未満児の確認、発見、及び、住所確認。
- コミュニティを対象にして、5才未満児の成長・発育コントロールの重要性を奨励、理由の説明、指導する。
- 子供の年齢に応じて計画された検診を考慮に入れた対応と診療の実施（保健機関に於る5才未満児の成長と発育への対応の為の統一規準）
- 検診結果の記録
- 15才以下の子供の病気への対応

4.5.2 母親への対応

母親セクションでは、下記事項に関する医師、看護婦、保健婦用の対応規準を設けている。

- コミュニティ内の妊婦、産婦、新生児の確認、発見、住所確認
- 出産前の検診と出産後の診療の重要性について、コミュニティを対象にして、奨励、理由の説明、指導を行なう。
- 妊婦の危険度の分類に応じた、妊娠期間中の検診と診療
- 対応の段階毎に危険度分類に応じた出産と新生児への対応
- 対応の段階毎に危険度分類に応じた産後への対応
- 医師の診療、看護婦の検診、及び、保健婦による対応、等の活動の普及、統一効率

4.5.3 受胎調節プログラム

家族計画のサービス実施に当り、1984年5月、厚生省、教育援助機関、国内、国外の機関の参加を得て、家族計画専門家の会議が召集された。そこで、対応及び教育の管理面に於る家族計画サブ・プログラムによるサービス提供活動の一連の指導規準を作成した。

実際に、管理、プログラム作成、組織、監督、評価、調整に関する規準、サービス提供基準。最後に、家族計画教育用規準が作成された。（別添 No.1）

専門家会議では、その最終報告書の中で、家族計画に関し、OMSが出している概念を採用した：即ち、“個人及び夫婦が自由意思で採用した考え方、生き方のモデルとしての家族計画であり、又、責任感のある認識、態度、決定に基づくものである。家族の健康、福祉を促進し、国の社会開発に効果的に貢献することを目的とする。”

1984年6月27日付省決議No.08514を通じて、専門家委員会内顧問委員会の企画及び助言を受けて、それを基に、国内の受胎調節サービスの提供を律する一連の規準が作成される。（別添 No.2）

5.1 活動スケジュール 1984~1985

活 動	1984					1985								
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	<p>① 母子部専門職向け短期実践講座，又は，視察，分野：急性下痢のコントロール，急性呼吸器系疾患のコントロール，受胎調節，子宮頸癌の早期発見，周産期医学，伝染病，プロジェクトの作成と評価</p> <p>② 医療局母子部へ，タイプライター3台，複写機1台，車1台，データ・ターミナル1台の供与</p> <p>③ 母子プログラムの各段階に責任を有する保健関係者に課されている能力開発に関する診断書の作成</p> <p>④ 国の保健制度の各対応レベルに於ける，プロジェクト資金で購入した機器の目録作成</p> <p>⑤ 母親への対応の規程，行動のマニュアル作成 看護婦用 保健婦用 助産婦用</p> <p>⑥ 医師，看護婦，保健婦用成長・発育マニュアルとE. D. A. コントロール用規程パンフレットの再印刷</p> <p>⑦ 頸癌に関するセミナーと実習</p> <p>⑧ 受胎調節，頸癌及び乳癌の発見規程に関するセミナー・実習(6)</p> <p>⑨ 母子プログラムの規程に関する医学部及び看護学部の教師の能力開発用のセミナー・実習 (Ascofame とのサブ・コントラクト)</p> <p>⑩ 看護学校教師向けの母子活動に於ける実践コース (バッシュ大学)</p>													

活 動	1984			1985										
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	<ul style="list-style-type: none"> ⑪ セクションレベルの母子プログラムの看護婦向けの母子活動の実践コース(国立大学) ⑫ 国家レベルの助産婦、保健婦を対象とした、経口避妊薬の取扱いに関する研修コース(16) ⑬ 看護婦向け非公式教育技術に関する能力開発コース ⑭ 保健婦を対象としたマイクロスポット取扱い研修講座を実施する ⑮ 国の保健制度の各レベル毎の母子プログラムに関する必要な情報を見極める為の実習 ⑯ 母子及び人口動態プログラムの活動を評価する為のセミナー・実習 ⑰ 周産期臨床記録の書式を評価する為のセミナー・実習 ⑱ 国内及び国際機関との家族計画に関する会議 ⑲ 保健婦の国内会合 ⑳ 母体と胎児、及び出産の危険指数を有効にするための調査 ㉑ 国家保健制度の中で、危険に重点を置いた母子への対応に際し、助産婦の活発な参加形式を作成するための調査 ㉒ ERAコントロール・プログラムを実施するためのパイロットエリアに於ける調査 ㉓ 地方に対する中央の監督 ㉔ 特定地域に於ける監督：チョコ、グアヒラ、マグダレナ、メディオ、アルト・シヌー(コルドバ) 													

活 働	1984						1985							
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	㉔ ソフトウェアの開発 ㉕ 番式のチェックと改定（母子部一情報サブシステム） ㉖ マイクロポストと自転車の供与 ㉗ 母親への対応、及び家族計画の為に、最低限の医療機器を 地方サービスへ供与する ㉘ チョコ、グアヒラ、マグダレナ・メディオ、アルト・シ スー（コルドバ）に於けるサブ・プロジェクトの開発を企画、 妊娠期間、評価の段階について行なう ㉙ プロジェクトの評価													

5.2 目標別総合予算

プロジェクト コロンビア 7--/PO/UNFPA 1,300

目 標	内 容	数 量	総コスト US\$
No. 1			
全国レベルでの母子プログラム推進への支援			
a. 活動の標準化	<ul style="list-style-type: none"> - 子宮頸部の標本抽出規準, 疑わしい場合の照会, 検査, 追跡, 子宮頸癌及び乳癌の発見と追跡規準の作成 - 受胎調節規準と頸癌, 乳癌の早期発見規準の導入 - Ascofame とのサブ・コントラクター - 次の手引書の作成と配布 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族計画の利用者及び母親への対応に従事する看護婦の為の規準手引書 ・ 保健婦の為の家族計画の規準と方法の手引書 ・ 助産婦の為の規準と処置の手引書 ・ 5才未満児の成長と発育の手引書 <ul style="list-style-type: none"> 医師用 保健婦用 看護婦用 ・ 急性下痢症コントロールの為の規準冊子 	<ul style="list-style-type: none"> 1 コース 6 セミナー 1 セミナー 9,000 手引書 9,000 手引書 5,000 手引書 1,000 手引書 2,000 手引書 1,000 手引書 2000 冊 	<ul style="list-style-type: none"> 2,500 26,000 25,000 35,000 22,000 7,500 2,500 2,500 2,500 1,000
b. 従事者の能力開発	<ul style="list-style-type: none"> - 准看護学校の教職看護婦の為のコース 母子活動に於ける実践コース - 地方レベルのプログラム看護婦を対象とした, 母子活動と規準に関する実践コース - 国内及び国際機関代表との家族計画に関する会議 - 周産期診療記録モデルを評価する為の実習セミナー - 保健婦の国内会合 - 母子及び人口動態活動を評価する為の実習セミナー - 助産婦及び保健婦を対象とした全国レベルでの経口避妊薬の取扱いに関する研修講座 	<ul style="list-style-type: none"> 看護婦18人当りに1コース 看護婦20人当りに1コース 参加者20人に1会議 参加者20人で1セミナー 参加者72人で1セミナー 1 セミナー (参加者70人) 30 講座 (参加者300人) 	<ul style="list-style-type: none"> 10,000 10,000 500 5,000 26,000 10,000 45,000

目 標	内 容	数 量	総 コ ス ト U S \$	
	-保健婦を対象に、マイクロポストの取扱いに関する研修	保健婦 140人	2,000	
	-准看護婦及び保健婦を対象に、非公式の教育技術に関する研修講座	参加者 75人	10,000	
	-母子局専門家を対象に、短期講座と視察		10,000	
c. 保健教育とコミュニティの参加	-マスコミを利用したの促進、人による直接教育活動、母子への対応プログラムの各々についての教育補助の計画、作成と導入		30,000	
d. 監 理	-医療及び母子への対応に従事する人を対象とした監理講座	参加者15人 1講座	6,000	
	-33の保健局への実地監理(国から地方へ)	33 回	20,000	
	-地方から、地域、地区への実地監理。プロジェクトから、国内及びメタ州、カケタ州へ補助金を出す	年 4 回	20,000	
e. 情報サブシステム	-国の保健制度の各々に関し、必要な情報を決定する為の実習	参加者22人 1実習	8,000	
	-ソフトウェアの開発、その為に、コロンビア人の技師と6ヶ月間の契約を結ぶ	1 技 師	4,800	
	-母子プログラムに従事する人を対象にした拠点運営に関する講座	1 講 座	3,000	
	-制度の企画、分析に関する中央レベルのセミナー	1 セ ミ ナ ー	10,000	
	-厚生省のコンピュータを利用できる拠点の確保	1 タ ー ミ ナ ル	10,000	
	-書式の更改と印刷の為の情報サブシステムへの支援		8,000	
	f. 調 査	-出産及び母子の危険指標の有効化	顧問1人と契約	3,500
		-母子への対応における助産婦の参加型式に関し、特に危険に重点を置いての調査	1	3,500
-パイロット・エリアにおけるERAコントロール・プログラムの実施			23,000	
-国の保健制度の各段階における保健従事者の能力開発に関する診断書作成		1	5,000	
g. 支 給	-プロジェクト資金で購入した機器の目録作成	1	3,000	
	-総合プログラムへのマイクロポストの供与		35,000	

目 標	内 容	数 量	総 コ ス ト U S \$
	- 母子局への供与 タイプライター 3台 複写機 1 車 1		12,000 12,000
	- 受胎調節必要品の局への供与		259,714
h. コンサルタント	- 母子及び人口動態局への OPS/OMS コンサルタント	1	75,000
i. そ の 他	- マテリアルの再生産, 機器の修理, 通信費, プロジェクト進捗状況報告書, 書類の印刷, スライド及びその他		7,946
j. 評 価	- プロジェクト コロンビア 1,300 の評価		7,000
計			815,960
No. 2 罹病, 死亡率の高い地方, あるいは社会人口統計的グループ, 紛争地域への技術, 資金面の支援			252,740
計			252,740

5.3 プロジェクト特定エリアの予算

目 標	項 目	活 動	数 量	コ ス ト U S \$	
No. 2 “国境地帯及び紛争地域のより良い発展を目指す国の保健計画に盛り込まれている現在の保健政策に呼応して、それら地域の構造修正に貢献することを目的に、罹病、死亡率の最も高いそれらの地域、グループへの技術、資金面での支援”	1. 現在の保健状況の診断	コミュニティの調査への融資	3	5,000	
	2. 活動の促進	母子、医療関係者、保健地方局責任者とのボゴタでの実習		1	8,000
		各地区毎の企画、監理、評価の為の地方レベルの会議		8	6,000
		中央担当者の参加を得て、母子関係者の地域レベルでの実習		20	58,200
		教材をも含め、プログラム推進の為の能力開発			
	准看護学校による地域関係者の能力開発	保健婦160人、助産婦50人を対象にした継続教育講座		8	11,000 7,500
	サブ・プロジェクトの実施と監理	中央から地方への視察、8地区へ5日間、3回		24	10,000
		地方から地域へ、8地方が4日間、6回		48	4,000
		監理ガイドの作成		150	1,000
		中央によるサブ・プロジェクトの評価会議		1	5,000
		シミティー・チョコ、ティエラ・アルタ及びモンテ・リバノ河川輸送			20,000
		6エリアへの輸送と燃料：プエルト・サルガール、プエルト・ボヤカー、シミターラ、ラ・ドラダ、プエルト・ベリオ、グアヒーラ			18,000
	その他の支給品	マイクロ・ポスト160セットの割当て		160	40,000
		自転車の割当て		100	15,000
		助産婦用カバンの割当て		50	7,500
		母子診療用医師の最低機器			36,540
		コ ス ト 合 計			252,740

プロジェクト総予算一覧

項 目	コ ス ト U S \$	全 体 比
A. 中央-厚生省, 医療局, 母子及び人口動態部	1 1 9,0 0 0	1 1.1
B. 中央レベルでの母子及び人口動態プログラム 推進に向けての支援活動	6 9 6,9 6 0	6 5.2
C. プロジェクト特定エリアに対する技術, 資金 援助: チョコー・グアヒラ, マグダレナ・メ ディオ, 及び, アルト・シヌー(コルドバ)	2 5 2,7 4 0	2 3.7
	1,0 6 8,7 0 0	1 0 0.0

国名：コロンビア

タイトル：母子及び人口動態プログラムの技術・資金援助

プロジェクト“コロンビア79/P06/UNFPA”主要項目別 1984～1985年予算

コード	項目	内容	1984	1985	合計 US\$
11	UN国際職員	一プロジェクト推進期間中、母子プログラムの為に常駐のOPS / OMS コンサルタント1名への支払い		75,000	75,000
11-99	計			75,000	75,000
15	旅費	一中央からのプログラム監理のための旅費交通費		40,000	40,000
15-01		一プロジェクト特定エリアの促進、監理、評価の旅費交通費		19,000	19,000
15-02		一プロジェクト特定エリアの河川輸送及び燃料費補助		38,000	38,000
15-99	計			97,000	97,000
16	現地職員への支払い				
16-01		一中央レベルのプログラムの情報システムを完成する為のソフトウェア開発専門の技師への6ヶ月間の支払い		4,800	4,800
16-01		一中央レベルの妊娠及び母と胎児の危険指標の有効利用を計る為の顧問への3ヶ月間の支払い		3,500	3,500
16-99	計			8,300	8,300

コード	項目	内容	1984	1985	合計 US\$
20 21-01	サブ・コントラクト	一サブ・コントラクト Ascofame 医学部及び看護学部の教師を対象にした母子への対応規準の実 験化		25,000	25,000
21-01		一サブ・コントラクト SENA 国の保健制度内の准看護婦及び保健婦を対象とした非公式教育 技術研修講座（参加者75人）		10,000	10,000
21-99	計			35,000	35,000
31 31-01	奨学金	一母子及び人口動態部の専門職を対象とした短期講座と視察		10,000	10,000
31-99	計			10,000	10,000
32 32-01	能力開発	一子宮頸癌の標本抽出、疑わしい場合の照会、検査、追跡、及び 子宮頸癌と乳癌の規準に関する国家規準作成の為の実習	2,500*		2,500*
32-01		一受胎調節規準と頸癌、乳癌の早期発見規準との導入の為のセミ ナー		26,000	26,000
32-01		一周産期カルテの書式の評価の為のセミナー・実習	5,000*		5,000
32-01		一保健婦間での職務上の経験の情報交換の為のセミナー・実習		26,000	26,000

* 実施済み

コード	項目	内容	1984	1985	合計 US\$
32-01		一母子及び人口動態プログラムの活動評価の為にセミナー・実習		10,000	10,000
32-01		一保健婦を対象としたマイクロポスト取扱い研修(保健婦140人)		2,000	2,000
32-01		一制度の企画、分析に関する中央レベル対象のセミナー		3,000	3,000
32-01		一国の保健制度の各段階毎の必要情報を決定する為にセミナー・実習		8,000	8,000
32-02		一国内及び国際機関の代表との家族計画会議	500*		500*
32-02		一コミュニケーション・レベルの母子への対応及び人口動態プログラムに関するマスコミ利用による促進、及び人による直接教育活動の為に会議		10,000	10,000
32-02		一特定エリアにおいて推進すべき活動を促進・計画する為に、国及び運営レベルの母子担当セクションの保健機器を利用しての実習		7,220	7,220
32-05		一母子への対応活動における、准看護学校の教師看護婦の為に講座	10,000*		10,000*
32-05		一地方レベルプログラムの看護婦を対象とした、母子関係の標準と活動に関する実践講座(参加者20名)		10,000	10,000
32-05		一経口避妊薬の取扱いに関する、中央レベルの助産婦及び保健婦を対象とした研修講座		45,000	45,000

* 実施済み

コード	項目	内容	1984	1985	合計 US\$
32-05				6,000	6,000
32				3,000	3,000
32-05		一中央レベルの母子プログラム担当者の為、拠点運営に関する講座(参加者5名)			
		一サブ・プロジェクトを推進する特定エリアの保健婦80名と助産婦50名を対象とした継続(8回)教育講座		18,500	18,500
39	計		18,000*	239,700	257,700
41	代替可能品				
41-01		一保健婦用家族計画の規準と方法手引書(9,000冊)		22,000	22,000
41-02		一家族計画利用者及び母親への対応に関する看護関係者用規準手引書(9,000冊)		35,000	35,000
41-03		一助産婦用規準・処置手引書(5,000冊)		7,500	7,500
41-03		一医師用5才未満児の成育と発育に関する手引書(1,000冊)		2,500	2,500
41-04		一看護婦用5才未満児の成育と発育に関する手引書(1,000冊)		2,500	2,500
41-05		一保健婦用5才未満児の成育と発育に関する手引書(2,000冊)		2,500	2,500
41-06		一急性下痢症のコントロールの為の規準冊子(2,000冊)		1,000	1,000

* 実施済み

コード	項目	内容	1984	1985	合計 US\$
41-07		一情報サブ・システム補助用書式の更改と印刷		8,000	8,000
41-08		一プロジェクト特定エリアにおける母子及び人口動態、プログラムに含まれるコミュニティーでの保健教育教材及び教材セットのデザイン・印刷、配布		20,000	20,000
41-09		一制度の各種段階における母子及び人口動態プログラムの監理ガイド作成用紙代(150部)		1,000	1,000
41-10		一陸細胞薄膜採取(14,285箱)	10,714		10,714
41-99	計		10,714	102,000	112,714
42	非代替可能品				
42-01		一保健省のコンピューターに直結した母子及び人口動態部用ターミナルの確保	10,000		10,000
42-02		一プロジェクト・エリア用母子への対応用医療機器 (別添No.3参照)	36,540		36,540
42-04		一プログラムの監理活動用車両の、母子及び人口動態部への供与	12,000		12,000
42-05		一 同上 タイプライター3台 複写機1台	12,000		12,000
42-98		一保健婦へマイクログロブセット300セットを供与	75,000		75,000
42-98		一プロジェクト特定エリアの助産婦50人へカバン50ケの供与	7,500		7,500

コード	項目	内容	1984	1985	合計 US\$
42-98		—プロジェクト特定エリアの保健婦100人へ自転車100台の供与	15,000		15,000
42-99	計		168,040		168,040
44	避妊薬	—受胎調節用器具の供与(別添No.3,6参照)(家族計画用器具)	249,000		249,000
	計 (非代替可能)		417,040		417,040
50	雑項目				
50-01		—母子への対応の中で、危険に重点を置いた助産婦の活発な活動型式に関する研究		5,000	5,000
50-02		—急性呼吸器系疾患コントロール・プログラムを実施する為のバイロット・エリアにおける調査		23,000	23,000
50-03		—プロジェクト特定エリアの保健状態と社会・経済状態の診断		5,000	5,000
50-04		—保健関係者に課せられている能力開発に関する診断		5,000	5,000
50-05		—プロジェクト資金で購入した品目の目録作成		3,000	3,000
50-06		—プロジェクト コロンビア1300の評価		7,000	7,000
53	その他	—プロジェクトの各種経費向けに、予算総コストの約1%		7,946	7,946
59	計			55,946	55,946
99	総計		445,754	622,946	1,068,700

プロジェクト コロンビア79/PO/UNFPA の予算
1984～1985 主要項目別一覧及び配分率

コード	項 目	金 額	%	
11	－国際職員	75,000	7.0	
15	－旅 費	97,000	9.1	
16	－人 件 費	8,300	0.8	
20	－サブ・コントラクト	35,000	3.3	
31	－奨 学 金	10,000	0.9	
32	－能 力 開 発	257,700	24.1	
41	－代替可能品	40 品目	112,714	10.5
42	－非代替可能品		168,040	15.7
44	－避 妊 用 具		249,000	23.3
	ー50-01 ー50-02 ー50-03 ー50-04 ー50-05 ー50-06 調査, 研究, 評価	48,000	4.5	
53	－各 種	7,946	0.8	
99	総 計	1,068,700	100.0	

JICA